

## 単元名 【旧】夏をすずしく さわやかに

配当時間 8時間

- 単元の目標 (1) 夏の快適な住まい方や、気持ちのよい衣服の着方と手入れに関する基礎的・基本的な知識及び技能を身に付けることができる。
- (2) 夏の衣生活、住生活について課題を見付け、その課題の解決を目指して、知識及び技能を活用して、自分なりに衣服の着方や住まい方を工夫することができる。
- (3) 自分の生活を見直し、夏の快適な住まい方や衣服の着方と手入れについて考え、工夫して快適な生活を送ろうとする。

## 標準的な展開例

06090106\_001

【準備等】いろいろな衣服の実物、品質表示のラベル、取り扱い絵表示のラベル、洗たく物、洗剤、洗いおけ、ハンガー、物干し台、実験用具

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 夏の暮らしの特徴を考え、単元の学習課題をつかむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ p. 72, 73を参考にして、快適に過ごすための工夫について話し合う。</li> <li>○ 単元の学習課題をつかみ、学習計画を立てる。</li> <li>★夏の暮らしを見つめよう</li> </ul> <p>2 夏を快適に過ごす住まい方を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>★自然を生かした住まい方を考えよう</li> <li>○ 家族に聞いた夏をすずしく過ごす工夫を発表し合う。</li> <li>○ 空気の温度や風の通り方と感じ方を調べる。</li> </ul> <p>3 衣服の働きや生活に合った着方を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>★衣服の役割を考えよう</li> <li>○ 夏にすずしく過ごす服装を考える。</li> <li>○ 布の性質を調べる。</li> <li>○ いろいろな場面では着る衣服と着方の特徴を話し合う。</li> </ul> <p>4 衣服の汚れと手入れの仕方を話し合い、実習計画を立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>★衣服の着方と手入れを工夫しよう</li> <li>○ 衣服の汚れについて調べる。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 砂や土 ・ 汗 ・ 体から出る汚れ</li> </ul> </li> <li>○ 衣服を洗濯するときに、家族が工夫していることを発表し合う。</li> <li>○ 洗濯の方法を調べ、実習計画を立てる。</li> </ul> <p>5～6 計画に従い、洗濯の実習をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>★手洗いで洗濯してみよう</li> <li>○ 衣服の取り扱い絵表示の見方について調べる。</li> <li>○ 洗たくの実習をし、反省する。</li> </ul> <p>7 自分にできる夏の暮らしの工夫を考え、実践計画を立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>★すずしくさわやかに過ごす工夫を考えよう</li> <li>○ p. 80のイラストを見て、学校ですずしく過ごす工夫について話し合う。</li> <li>○ 自分の家でできそうな工夫を考え、実践計画を立てる。</li> </ul> <p>8 学習を振り返り、自己評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>★快適な夏の暮らしを実践しよう</li> <li>○ 実践発表会をする。（言語活動）</li> <li>○ 家庭で生かしたいと思うことを考える。（活用）</li> <li>○ 単元の学習を振り返り、自己評価する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 衣食住全般に目を向けさせ、季節に合わせた生活の工夫を考えるようにする。</li> <li>・ 電気の使用量を抑えることにも気付くようにする。</li> <li>・ 単元の学習に見通しをもって取り組むようにする。</li> <li>・ あらかじめ家族にインタビューさせておく。</li> <li>・ 自然を生かした工夫や、エネルギーの効率的な使い方についても考えるようにする。</li> <li>・ 衣服の形や布の種類などの点から考えるようにする。</li> <li>・ p. 76の資料を参考にし、簡単な実験を行う。</li> <li>・ 衣服のもつ保健衛生上・生活活動上の働きを理解できるようにする。</li> <li>・ 洗濯の必要性について、実験や観察を通して具体的に理解させ、洗たく実習への意欲を高める。</li> <li>・ 事前に家族にインタビューさせておく。</li> <li>・ 一人ずつ計画を立てるようにする。</li> <li>【評】実習計画を立てる活動を通して、「知識・技能」を評価する。</li> <li>・ 自分の着ている衣服や、洗濯する予定の衣服で確かめさせる。</li> <li>・ 洗剤の働きには深入りせず、環境に配慮するという視点で使用量を考えるようにする。</li> <li>・ 手洗いを中心にし、洗濯機は脱水に利用する程度とする。</li> <li>【評】実習活動を通して、「知識・技能」を評価する。</li> <li>・ 考えるポイントを示して話し合わせる。</li> <li>・ 環境や日本の伝統的な工夫なども考慮し、各家庭で実践可能な計画を立てさせる。</li> <li>【評】実践計画を立てる活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。</li> <li>・ 友達同士で相互評価して、よいところを認め合うことができるようにする。</li> <li>【評】発表会を通して、「思考・判断・表現」を評価する。</li> <li>【評】家庭で生かしたいことを考える活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</li> </ul>

### 【 備 考 】

児童の衣服に対する関心は、高学年になるにしたがって、色、デザイン、流行などに対して高くなっていく。そこで本単元では、まず身近な生活場面に目を向け、衣服をなぜ、どのように着るかという視点に立つ。そして気持ちよく生活したり、目的に応じて衣服を選んで着用したりできるよう着方への関心を高め、工夫する力を養うようにする。夏を涼しく過ごす工夫については、打ち水など、日本の伝統的な工夫についても触れる。言語活動としては、各家庭で実践した快適な暮らし方について発表し合う活動を行い、さまざまな工夫を生活に取り入れようとする意欲につなげる。

本単元の学習は、第5学年の家庭「ひと針に心をこめて」、第6学年の家庭「冬を明るく暖かく」、第5学年の社会「さまざまな土地の暮らし〈気候〉」、第3学年の理科「日なたと日かげ」第4学年の理科「もののあたたまり方」、中学校技術・家庭（家庭分野）「社会生活上の働き」の内容が関連しているため、それらを踏まえた指導が必要である。